

ふるさとと登別を応援します

「ふるさとと登別げんきかい」は、登別市を「ふるさと」とする方と登別市にゆかりのある方が集まり、親睦交流や情報交換などを行いながら、ふるさとと登別市の発展をお手伝いしたいの思いから平成元年に設立され、現在では500名を超える会員の方が登録しています。

○東京登別げんきかいとは？

『東京登別げんきかい』は、登別市を「ふるさと」とする方と登別市にゆかりのある方が集まり、親睦交流や情報交換などを行いながら、ふるさとと登別市の発展をお手伝いしたいの思いから平成元年に設立され、現在では500名を超える会員の方が登録しています。

○主な活動経過

- ◆平成元年11月18日(土) 東京登別げんきかい設立総会が開催されました。
- ◆平成4年4月 会員の紹介により株式会社大和電機北海道が千歳町に進出しました。
- ◆平成10年9月26日(土)・27日(日) 設立10周年事業として、『いぶり環境フェスティバルin登別』の開催に併せ、会員が登別を訪問しました。
- ◆平成10年11月7日(土)



設立20周年記念『ふるさと訪問ツアー』しだれ桜植樹 (平成20年8月24日)

- 設立10周年記念総会を開催しました。
- ◆平成20年8月22日(金)～24日(日) 設立20周年を記念して『ふるさと登別訪問ツアー』を実施し、地獄谷で行われた鬼火火の見学や海鮮朝市、ネイチャーセンターなどを訪問。また、20周年を記念して『しだれ桜』を登別市民会館前庭に植樹しました。
- ◆平成20年11月8日(土) 設立20周年記念総会を実施、総会に併せて開催された情報交換会では、上野晃前登別市長が『登別の20年を振り返って』をテーマに講演しました。

また、登別市から参加した若手経済人と東京登別げんきかい役員による懇談会を実施しました。

登別市の出身の方が集まり、『ふるさと』を思い『ふるさと』を応援するため、『東京登別げんきかい』と『札幌のぼりべつ会』という『ふるさと会』が結成されています。それぞれの会では総会や懇親会、親睦イベントなどを行っており、会員同士の交流を図りながら、ふるさとのために何ができるか真剣に考えています。

今月号では、『東京登別げんきかい』と『札幌のぼりべつ会』の活動の一部をご紹介します。

○札幌のぼりべつ会とは？

札幌のぼりべつ会は、登別市出身または登別市にゆかりがあり、現在札幌圏に住んでいらっしゃる方と札幌圏に所在する法人で組織され、会員の親睦と共栄を図るとともに、登別市の発展を願う平成8年度に設立されました。

個人会員54名、法人会員9社で構成される札幌のぼりべつ会は、ふるさと会としての活動とともに、登別市と札幌圏の経済人の方の情報交換の場としての側面も併せ持っています。

○主な活動経過

- ◆平成8年10月22日(火) 第1回札幌のぼりべつ交流プラザ開催しました。
- ◆平成12年8月1日(火) 市制施行30周年を記念し、鬼の衣装2組を登別市に寄贈しました。
- ◆平成12年9月30日(土) 登別で行われた『産業フェアin登別』に会員が参加。ブースを設け会員企業のPRを実施しました。



昨年の札幌総会 (平成20年11月21日)

- ◆平成18年9月16日(土) 会の設立10周年を記念し、『のぼりべつ再発見・買出しツアー』を実施。登別海鮮直市で買出しや天然足湯の散策、のぼりべつ酪農館でのいくら作り体験などを行いました。
- ◆平成20年8月22日(金) 東京登別げんきかいの『ふるさと訪問ツアー』に合わせ、交流プラザと交流会を実施のほか、登別温泉の開湯150年を記念し、登別市観光協会に桜の木を寄贈しました。